

神奈川県内釣手土器一覧

No.	市町村名	遺跡名	時期
1		岡田遺跡	I
2	寒川町	岡田遺跡	II
3		岡田遺跡	IIIa?
4		美立谷遺跡	IIIa?
5	横浜市	市ノ沢団地遺跡	IIIa
6		市ノ沢団地遺跡	IIIa?
7		大熊仲町	?
8		上白根おもて	IIIa?
9	川崎市	細山向原	IIIa
10	相模原市	橋本	IIIa?
11		橋本	IIIa
12		磯部山谷	?
13	(城山町)	川尻中村	IIIa
14		川尻中村	IIIa?
15		原東	II
16	(津久井町)	寺原	IIIa?
17		三ヶ木	II?
18	(藤野町)	下岩	II?
19		馬本	II?
20	海老名市	杉久保	II?
21	厚木市	大久根	II?
22		林王子	IIIa?
23		飯山上根岸	IIIa?
24	平塚市	万田貝殻塚貝塚	IIIa?
25	伊勢原市	御伊勢森	I
26	小田原市	久野一本松	I

- ◎ I期＝藤内式期～曾利I式期、II期＝曾利II式期、IIIa期＝曾利III式期、IIIb期＝曾利IV式期以降

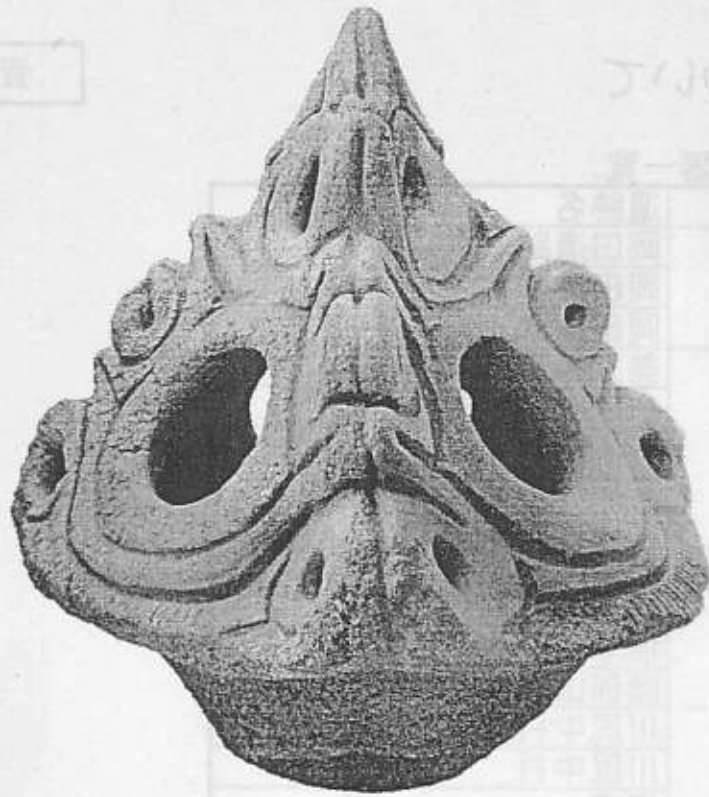
- * 中村耕作「釣手土器の展開過程－造形の継承と変容－」
『史葉 第3号』加藤建設株式会社 2010年5月
を基に作成

釣手土器

縄文時代中期(約5000～4000年前)に出現した縄文土器の一種。浅鉢形で胴体口縁部に把手が付けられた土器。把手の部分に動物や人面などの装飾を伴うものも有り、祭祀に関連したものと共伴で出土することもあり、その奇異な形と共に祭祀に関連した土器ではとも考えられる。

把手には懸垂のためと思われる孔が設けられていることもあり、内面に炭化物等の付着や黒色変化が認められる出土例があることから、灯火具(ランプ)や防虫香炉であるとも考えられている。

イロハ



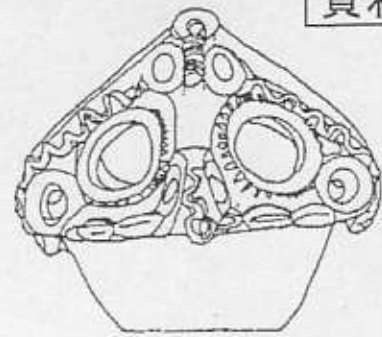
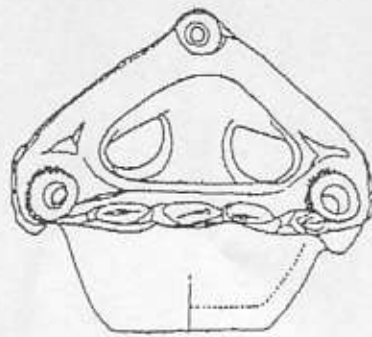
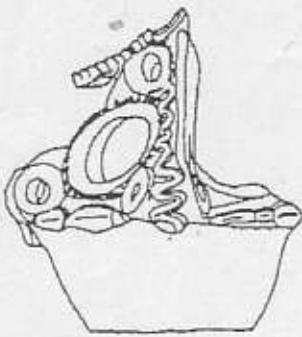
No. 1 (I 期)



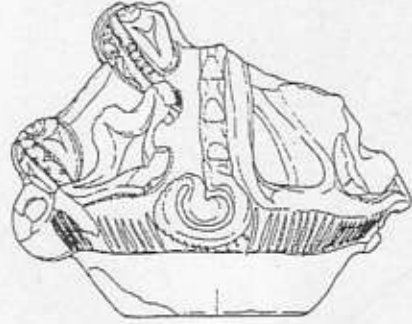
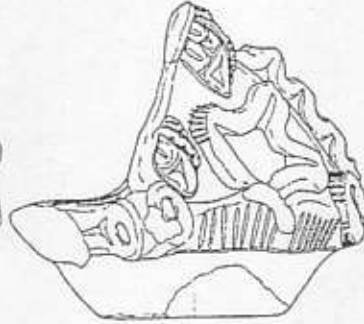
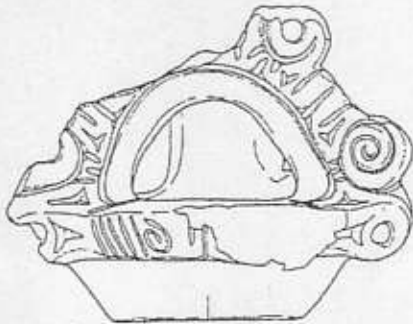
No. 2 (II 期)



No. 3 (III a 期)



No. 25 (I期)



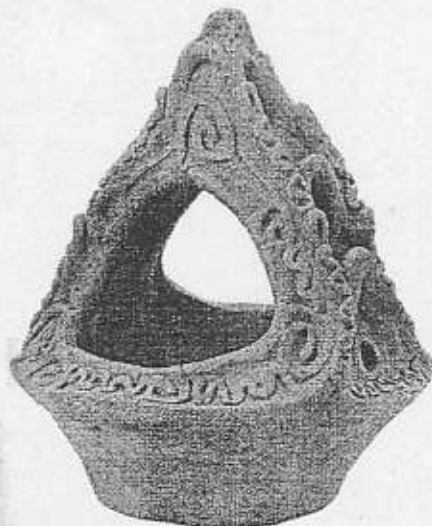
No. 26 (I期)



No. 21 (II期)



No. 14 (IIIa期)



No. 5 (IIIa期)



No. 4 (IIIa期)